



# やいきた夏 最後の総体



7月、猛暑とともに、勝負の夏がやってきました。3年生にとって中学校最後の大会となる和歌山市及び和歌山県中学校総合体育大会が各会場で開催されました。4日には壮行会を開き、校長先生からの激励の言葉とともに、それぞれのクラブの主将が力強く決意を述べ、大いに士気を高めました。そして迎えた大会本番。

## 陸上部・水泳部・バドミントン部が近畿大会へ！

主な結果を紹介します。陸上競技では、男子低学年リレーで、林昇矢君・宮崎雅貴君・松村泰知君・竹村誉仁君のチームが市大会新記録で1位、そして、県大会でも大会記録を塗り替え1位で近畿大会出場の快挙。また、3年林亮太郎君が100mで3位、1年生100mで宮崎君が1位、松村君が2位で県大会出場。県大会でも



宮崎君が大会新記録で1位、松村君が3位に入り見事近畿大会出場を決めました。水泳では3年生曾根愛美香さんが県大会で100m平泳ぎ2位、200mでも2位となり3年連続で近畿大会に出場します。バドミントン男子シングルスでは、3年生伊藤希真君が県大会で準優勝となり、近畿大会に出場を決めました。



他の競技でも熱戦が繰り広げられました。野球部は、久しぶりに単独チームで出場し、貴志中に敗れましたが、初めて出る1年生をみんなで励ましながらよく頑張りました。サッカー部も1年生全員を含めた11人で楠見中に挑みましたが、PKを止めるなど全員で必死に猛攻をしのいできましたが、終了1分前に1点を入れられ惜敗。バスケット部は近大附属中と対戦。抜きつ抜かれつの大接戦でしたが、最後1点届かず涙をのみました。ソフトテニス部は、県大会には惜しくも届きませんでしたが、強豪と対等に



渡り合い、あと一步のところまで追い詰めました。卓球部は、団体戦で個々の試合は接戦でしたが、最後は力及びませんでした。壮行会では「悔いを残さぬように」という決意をよく聞きましたが、いかがでしたか。力を出し切って達成感を味わった人、力を出せずに悔しい思いをした人それぞれだと思います。日々懸命に打ち込んだ分だけ、勝った喜び・負けた悔しさは大きいものです。たとえ、勝てずに終わったとしても、心に何が残っているかが大切です。最後まで懸命に戦った先輩たちの姿は、後輩たちの目に焼き付いていることでしょう。記録的猛暑の夏休み、早朝から新チームの元気な声が響いています。